



CASBEE横浜2017年版v.1.1
(仮称)MM21地区47街区開発計画

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0	建築物の環境品質					-		-	3.5
Q1	室内環境					0.40			3.8
1	音環境				3.8	0.15	3.2	1.00	3.8
1.1	騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2	遮音				4.5	0.40	3.6	0.40	-
1.2.1	開口部遮音性能				5.0	0.77	5.0	0.30	-
1.2.2	界壁遮音性能				3.0	0.23	3.0	0.30	-
1.2.3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4	界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.3	吸音				4.0	0.20	3.0	0.20	-
2	温熱環境				3.6	0.35	3.0	1.00	3.6
2.1	室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	-
2.1.1	室温	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2.1.2	外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	温熱環境 外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43	-
2.1.3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.37	-	-	-
2.2	湿度制御	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20	-
2.3	空調方式	快適・働きやすさ		温熱環境	5.0	0.30	3.0	0.30	-
3	光・視環境				3.7	0.25	2.5	1.00	3.7
3.1	昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30	-
3.1.1	昼光率	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.59	3.0	0.60	-
3.1.2	方位別開口	快適・働きやすさ		光環境	-	-	3.0	-	-
3.1.3	昼光利用設備	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.41	3.0	0.40	-
3.2	グレア対策				3.0	0.25	3.0	0.30	-
3.2.1	昼光制御	快適・働きやすさ		光環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3	照度	快適・働きやすさ		光環境	4.0	0.16	3.0	0.15	-
3.4	照明制御	快適・働きやすさ		光環境	5.0	0.29	1.0	0.25	-
4	空気質環境				4.2	0.25	3.2	1.00	4.2
4.1	発生源対策				5.0	0.50	3.0	0.63	-
4.1.1	化学汚染物質	快適・働きやすさ		空気質環境	5.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2	換気				3.7	0.30	3.6	0.38	-
4.2.1	換気量	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.38	3.0	0.33	-
4.2.2	自然換気性能	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.24	3.0	0.33	-
4.2.3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		空気質環境	5.0	0.38	5.0	0.33	-
4.3	運用管理				3.0	0.20	-	-	-
4.3.1	CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.36	-	-	-
4.3.2	喫煙の制御	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.64	-	-	-
Q2	サービス性能				-	0.30	-	-	3.5
1	機能性				3.7	0.40	3.4	1.00	3.7
1.1	機能性・使いやすさ				2.6	0.40	3.0	0.60	-
1.1.1	広さ・収納性	快適・働きやすさ		機能性	1.0	0.19	3.0	0.50	-
1.1.2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.19	3.0	0.50	-
1.1.3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.62	-	-	-
1.2	心理性・快適性				4.3	0.30	4.0	0.40	-
1.2.1	広さ感・景観	快適・働きやすさ		機能性	5.0	0.19	3.0	0.50	-
1.2.2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		機能性	5.0	0.19	-	-	-
1.2.3	内装計画	快適・働きやすさ		機能性	4.0	0.62	5.0	0.50	-
1.3	維持管理				4.5	0.30	-	-	-
1.3.1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		機能性	5.0	0.50	-	-	-
1.3.2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		機能性	4.0	0.50	-	-	-
2	耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2
2.1	耐震・免震				3.2	0.50	-	-	-
2.1.1	耐震性	防災		耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2.1.2	免震・制振性能	防災		耐震・免震	4.0	0.20	-	-	-
2.2	部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-
2.2.1	躯体材料の耐用年数	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
2.2.4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
2.2.5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4	信頼性				3.0	0.20	-	-	-
2.4.1	空調・換気設備	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.2	給排水・衛生設備	防災		信頼性	4.0	0.20	-	-	-
2.4.3	電気設備	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.4	機械・配管支持方法	防災		信頼性	4.0	0.20	-	-	-
2.4.5	通信・情報設備	防災		信頼性	1.0	0.20	-	-	-
3	対応性・更新性				3.7	0.30	4.0	1.00	3.7
3.1	空間のゆとり				4.4	0.22	3.0	0.50	-
3.1.1	階高のゆとり				5.0	0.47	3.0	0.60	-
3.1.2	空間の形状・自由さ				4.0	0.53	3.0	0.40	-
3.2	荷重のゆとり				5.0	0.22	5.0	0.50	-
3.3	設備の更新性				3.0	0.57	-	-	-
3.3.1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 29-112



CASBEE横浜2017年版v.1.1
(仮称)MM21地区47街区開発計画

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	3.2	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	地域性への配慮	4.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	3.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	建物の熱負荷抑制	4.7	0.20	-	-	-	4.7	
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの効率化		省エネルギー性能	設備システムの効率化	2.6	0.50	-	-	-	2.6	
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-	-	3.5	
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	効率的運用	4.0	0.50	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.6	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.60	-	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.22	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.20	-	-	-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.70	-	-	-	-	
	1 消火剤			4.0	0.33	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	-	-	
	3 冷媒			3.0	0.33	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	-	2.6	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	-	-	
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
	3 交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1 騒音			3.0	0.33	-	-	-	-	
	2 振動			3.0	0.33	-	-	-	-	
	3 悪臭			3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目					-	-	-	-	-	
<事務用途>					-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	知的生産性向上への取組	5.0	-	-	-	-	-	
<住宅用途>					-	-	-	-	-	
健康と安心					-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画		健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	防犯対策	-	-	-	-	-	-	